

地域再生計画「地球環境にやさしい新森林業の形成」変更申請 新旧対照表

新	旧
<p>地域再生計画</p>	<p>地域再生計画</p>
<p>1 (略)</p>	<p>1 (略)</p>
<p>2 地域再生計画の作成主体の名称 鳥取県・鳥取県日野郡日南町</p>	<p>2 地域再生計画の作成主体の名称 鳥取県日野郡日南町</p>
<p>3 (略)</p>	<p>3 (略)</p>
<p>4 地域再生計画の目標</p> <p>&lt;はじめに&gt; (略)</p> <p>&lt;環境の保全と資源の有効利用&gt;</p> <p>現状と課題 (略)</p> <p>施策 (略)</p>	<p>4 地域再生計画の目標</p> <p>&lt;はじめに&gt; (略)</p> <p>&lt;環境の保全と資源の有効利用&gt;</p> <p>現状と課題 (略)</p> <p>施策 (略)</p>

目 標

項 目	2005.3月現在	2008.3月	2011.3月	摘 要
水質の環境基準達成率	100.0%	100.0%	<u>100.0%</u>	日野川水系の 現環境の維持
生活排水処理施設普及率	79.1%	84.0%	<u>86.0%</u>	
ごみリサイクル率	20.0%	50.0%	<u>65.0%</u>	
TEAS・ISO取得事業所数	16カ所	<u>11カ所</u>	<u>13カ所</u>	<u>小学校統合に よる減( 7)</u>
二酸化炭素排出量削減	42,250 t-CO2/年	39,700 t-CO2/年	<u>38,200</u> t-CO2/年	原油換算 961 ~ <u>1,526kl</u>
低公害車の普及台数	29台中 1 台	29台中 3 台	<u>25台中 6 台</u>	公用車
小水力発電所	2カ所	2カ所	<u>2カ所</u>	発電所の新設 を検討中
木質バイオマスエネルギー	次 項	次 項	<u>次 項</u>	日南町地域新 エネルギービジョン
太陽エネルギー	437MWh	493MWh	<u>590MWh</u>	日南町地域新 エネルギービジョン
EV充電ステーション整備	-	1カ所	<u>2カ所</u>	
官学連携のフィールド教育	未実施	実施済	<u>実施済</u>	

< 木質バイオマスエネルギーの推進 >

現状と課題

( 略 )

施 策

( 略 )

目 標

項 目	2005.3月現在	3年後	摘 要
水質の環境基準達成率	100.0%	100.0%	日野川水系の現環境の維持
生活排水処理施設普及率	79.1%	84.0%	
ごみリサイクル率	20.0%	50.0%	
TEAS・ISO取得事業所数	16カ所	<u>18カ所</u>	
二酸化炭素排出量削減	42,250t-CO2/年	39,700t-CO2/年	原油換算 961キロリットル
低公害車の普及台数	29台中 1 台	29台中 3 台	公用車
小水力発電所	2カ所	2カ所	発電所の新設を検討中
木質バイオマスエネルギー	次 項	次 項	日南町地域新エネルギービジョン
太陽エネルギー	437MWh	493MWh	日南町地域新エネルギービジョン
EV充電ステーション整備	-	1カ所	
官学連携のフィールド教育	未実施	実施済	

< 木質バイオマスエネルギーの推進 >

現状と課題

( 略 )

施 策

( 略 )

目 標

項 目	2005.3月現在	2008.3月	2011.3月	摘 要
木質バイオマス エネルギー	-	200 MWh	<u>300 MWh</u>	
同エネルギーの 実用化	-	試 行	<u>運 用</u>	<u>木材団地内</u>

< 林業の振興 >

現状と課題

(略)

施 策

(前略)

日南町の特性を活かした4項目からなる林業再生事業を体系的に推進し、これらの取組みにより、1年間に算出する貴重な15万m<sup>3</sup>の木材を全て森林から搬出し、町内で加工、その廃材までも有効利用するというシステムの構築を目指す。

木材の需要に応え、また独自の商品開発を支える木材供給の安定を図るため、町内の森林資源のデータベース化を図る。

(後略)

目 標

項 目	2005.3月現在	3年後	摘 要
木質バイオマスエネルギー	-	200 MWh	
同エネルギーの実用化	-	試 行	

< 林業の振興 >

現状と課題

(略)

施 策

(前略)

日南町の特性を活かした4項目からなる林業再生事業を体系的に推進し、これらの取組みにより、1年間に算出する貴重な15万m<sup>3</sup>の木材を全て森林から搬出し、町内で加工、その廃材までも有効利用するというシステムの構築を目指す。

木材の需要に応え、また独自の商品開発を支える木材供給の安定を図るため、町内の森林データのベース化を図る。

(後略)

目 標

1. 林業振興施策

項 目	2005.3月現在	2008.3月	2011.3月	摘要
森林資源の データベース化	基礎データ作成	運 用	2次運用	
森林施業計画 の樹立	基礎データ作成	樹立済	運 用	
森林管理認証・CoC 認証の取得	未取得	取得済	運 用	
新商品、高付加 価値化商品の開発	未開発	開発済	商業ベース化	
木質バイオマス 燃料の製造	未製造	200 MWh	300 MWh	
バイオマス電力 の使用	未使用	試 行	運 用	

目 標

1. 林業振興施策

項 目	2005.3月現在	3年後	摘 要
森林データのベース化	基礎データ作成	運 用	
森林施業計画の樹立	基礎データ作成	樹立済	
森林管理認証・CoC認証の取得	未取得	取得済	
新商品、高付加 価値化商品の開発	未開発	開発済	
木質バイオマス燃料の製造	未製造	200 MWh	
バイオマス電力の使用	未使用	試 行	

## 2. 雇用関連施策

(単位：人)

項 目	アウトカム 指標	1年目		2年目		3年目		2011.3月	
		単年	累計	単年	累計	単年	累計	単年	累計
森林資源の データベース化	事業利用企業 の雇用人数	1		1	2		2		2
	事業利用者の 町内就職件数	1		1	2		2		2
「森林施業計 画」の樹立と木 材団地の形成	事業利用企業 の雇用人数	1			1		1		1
	事業利用者の 町内就職件数								
森林管理認証と CoC認証関連の 取得と市場マー ケティング	事業利用企業 の雇用人数	1		1	2		2		2
	事業利用者の 町内就職件数	1		1	2		2		2
新商品・高付加 価値化商品の開 発	事業利用企業 の雇用人数	1		2	3	5	8		10
	事業利用者の 町内就職件数			2	2	1	3		3
木質バイオマス 関連の新規起業	事業利用企業 の雇用人数	1		2	3	10	13		15
	事業利用者の 町内就職件数			1	1	4	5		5
計	事業利用企業 の雇用人数	5		6	11	15	26		30
	事業利用者の 町内就職件数	2		5	7	5	12		12

## 2. 雇用関連施策

(単位：人)

項 目	アウトカム指標	1年目		2年目		3年目	
		単年	累計	単年	累計	単年	累計
森林データの ベース化	事業利用企業の雇用人数	1		1	2		2
	事業利用者の町内就職件数	1		1	2		2
「森林施業計画」 の樹立と木材団 地の形成	事業利用企業の雇用人数	1			1		1
	事業利用者の町内就職件数						
森林管理認証と CoC認証関連の取 得と市場マーケ ティング	事業利用企業の雇用人数	1		1	2		2
	事業利用者の町内就職件数	1		1	2		2
新商品・高付加価 値化商品の開発	事業利用企業の雇用人数	1		2	3	5	8
	事業利用者の町内就職件数			2	2	1	3
木質バイオマス 関連の新規起業	事業利用企業の雇用人数	1		2	3	10	13
	事業利用者の町内就職件数			1	1	4	5
計	事業利用企業の雇用人数	5		6	11	15	26
	事業利用者の町内就職件数	2		5	7	5	12

< 木材工業団地の形成 >

現状と課題

(略)

施策

(略)

目標

項目	2005.3月現在	2008.3月	2011.3月	摘要
木材団地の移転	未移転	一部移転	1社新設 2社移転	

< 町道・林道を中心とする道路交通網の整備 >

現状と課題

(略)

施策

木材流通の基盤である林道、町道の新設整備、改良を図る。  
県営の森林基幹道窓山線を開設し、森林整備の促進及び森林資源の効果的な活用を図り、自然環境の保全、森林の公益的機能の向上等に資する。  
 町と森林組合で実施している林道、簡易車道、間伐作業道の開設といった基盤整備を計画的に進め、町の基幹産業である林業の振興を図る。  
 町内幹線網などの計画的な道路整備に努める。

< 木材工業団地の形成 >

現状と課題

(略)

施策

(略)

目標

項目	2005.3月現在	3年後	摘要
木材団地の移転	未移転	一部移転	

< 町道・林道を中心とする道路交通網の整備 >

現状と課題

(略)

施策

木材流通の基盤である林道、町道の新設整備、改良を図る。  
 町と森林組合で実施している林道、簡易車道、間伐作業道の開設といった基盤整備を計画的に進め、町の基幹産業である林業の振興を図る。  
 町内幹線網などの計画的な道路整備に努める。

目 標

1. 林道、町道等の整備・改良

項 目	実 施 主 体	総 延 長		具体的な計画路線
		2005.3月現在	2011.3月	
林道の新設整備、改良	町	89.5km	91.3km	林道宮内東山線 (L= 850m W=4.0m) 林道小熊井谷線 (L=1,850m W=4.0m)
	県	5.6km	7.3km	森林基幹道窓山線 (L=1,400m W=5.0 m)
町道の新設整備、改良	町	204.5km	209.4km	町道霞福塚線 (L= 640m W=7.0m) 町道生山印賀線 (L= 160m W=7.0m)
簡易車道、間伐作業道の開設	森 林 組 合	16.2km	20.0km	

2. 森林施業と物流の効率化

計画路線名	整備内容	路線整備によってもたらされる効果
林道宮内東山線	改 良	・森林区域内から木材団地までの木材搬出が容易となる。
林道小熊井谷線	開 設	
森林基幹道窓山線	開 設	・利用区域内の森林施業面積が10%増。
町道霞福塚線	線形改良	・大型車両の通行が容易となる。 ・福栄地区の森林エリアから新木材団地への移動時間の短縮 20分⇒15分(本線の代替ルートである猪子原上石見停車場線との比較)

目 標

項 目	2005.3月現在	3年後	摘 要
林道の新設整備、改良	総延長 95.1km	総延長 98.0km	計画路線 を含む
町道の新設整備、改良	総延長 204.5km	総延長 207.5km	
簡易車道、間伐作業道の開設	総延長 16.2km	総延長 20.0km	

町道生山印賀線	拡幅改良	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大型車両の通行が容易となる。</li> <li>・大宮地区の森林エリアから新木材団地への移動時間の短縮</li> </ul> 25分⇒15分（本線の代替ルートである町道阿毘縁菅沢線～国道180号線～国道183号線との比較）
---------	------	---

### 3. 森林整備の促進

計画路線名	整備路線上の森林面積	うち森林整備目標	摘要
林道宮内東山線	73ha	14ha / 5年間	
林道小熊井谷線	152ha	61ha / 5年間	
森林基幹道窓山線	2,506ha	200ha / 5年間	
町道霞福塚線	163ha	54ha / 5年間	
町道生山印賀線	197ha	70ha / 5年間	
簡易車道、間伐作業道	80ha	16ha / 5年間	

### 5 目標を達成するために行う事業

#### 5 - 1 全体の概要

広大な森林を保有する日南町にとって、「地域再生」のカギは、この森林の持つ経済的機能が握っている。現在、さまざまな手法で林業の振興を図っているが、現実には、年間15万m<sup>3</sup>相当を市場に出せるだけの木材資源がありながら、市場に出ているのは、わずか3万m<sup>3</sup>という状況である。

そこで、この現状を打開するため、町内の森林資源のデータベース化、「森林施業計画」と工場の新築移転や団地化、「森林管理認証」及び「CoC認証」の取得と新商品、高付加価値化商品の開発、木質バイオマス燃料の製造といった林業再生事業を体系的に推進し、これら事業を展開していくうえで不足する人材を、地域提案型雇用創造促進事業で育成していくというものである。そして、これらを一体的に機能させ、貴重な資源15万m<sup>3</sup>の木材を全て森林から搬出し、町内で加工、その廃材までも有効利用するというシステムの構築を

### 5 目標を達成するために行う事業

#### 5 - 1 全体の概要

広大な森林を保有する日南町にとって、「地域再生」のカギは、この森林の持つ経済的機能が握っている。現在、さまざまな手法で林業の振興を図っているが、現実には、年間15万m<sup>3</sup>相当を市場に出せるだけの木材資源がありながら、市場に出ているのは、わずか3万m<sup>3</sup>という状況である。

そこで、この現状を打開するため、町内の森林データのベース化、「森林施業計画」と工場の新築移転や団地化、「森林管理認証」及び「CoC認証」の取得と新商品、高付加価値化商品の開発、木質バイオマス燃料の製造といった林業再生事業を体系的に推進し、これら事業を展開していくうえで不足する人材を、地域提案型雇用創造促進事業で育成していくというものである。そして、これらを一体的に機能させ、貴重な資源15万m<sup>3</sup>の木材を全て森林から搬出し、町内で加工、その廃材までも有効利用するというシステムの構築を目



目指す。

また、道整備交付金により、町の基幹道路である国道183号線にアクセスする「町道霞福塚線」及び「町道生山印賀線」の線形改良と拡幅改良、「林道宮内東山線」の改良と「林道小熊井谷線」及び「森林基幹道窓山線」の開設を行い、森林施業と関連林産物の物流の効率化と森林整備の促進及び森林資源の効果的な活用を図る。とりわけ、「町道霞福塚線」は、新築移転予定の木材団地の進入路でもあり、交通量の増大と大型車両の往来が予想されることから、その整備を急がねばならない。そして、こうした木材流通基盤の整備と「森林施業計画」により、森林資源の効果的な活用と森林の公益的機能の保全を図りたい。

そのうえで、国土保全、水源かん養、環境保全といった多面的な機能を有する広大な森林に宿る希少な生態系空間の復元と保護を目的とするビオトープ活動を実践していく。環境政策を体系的に整理し、貴重な地域資源を保全していくには、正確なデータの収集は不可欠である。そこで、町民が持つ自然知識の情報と専門的知識を持つ大学等と連携をとり、詳細な調査を実施する。そして、産官学の連携により、環境をキーワードとする「日南」という名のビオトープを町民とともに再生していく。

**経済関連主要事業**

(略)

**地域資源関連主要事業**

(略)

**5 - 2 法第4章の特別の措置を適用して行う事業**

**道整備交付金を活用する事業**

対象となる事業は、以下のとおり事業開始に係る手続き等を了している。

なお、整備箇所等については、別添の整備箇所を示した図面による。

**・町道**

町道生山印賀線...道路法に規定する町道に昭和56年3月23日に認定済み。

町道霞福塚線...道路法に規定する町道に昭和57年3月25日に認定済み。

指す。

また、一方では、その広大な森林に宿る希少な生態系空間の復元と保護を目的とするビオトープ活動を実践していく。こうした貴重な地域資源を保全していくには、正確なデータの収集は不可欠である。そこで、町民が持つ自然知識の情報と専門的知識を持つ大学等と連携をとり、詳細な調査を実施する。そして、産官学の連携により、環境をキーワードとする「日南」という名のビオトープを町民とともに再生していく。

**経済関連主要事業**

(略)

**地域資源関連主要事業**

(略)

**5 - 2 法第4章の特別の措置を適用して行う事業**

**該当なし**

・林道（森林基幹道窓山線、林道小熊井谷線、林道宮内東山線）

森林法による日野川地域森林計画（期間：自平成17年4月1日 至平成27年3月31日）に路線を記載。

[ 施設の種類（事業区域）、事業主体 ]

・町道（日南町） 日南町

・林道（日南町） 鳥取県及び日南町

[ 事業期間 ]

・町道（平成18年度～平成22年度）

・林道（平成18年度～平成22年度）

[ 整備量及び事業費 ]

・町道...800m 林道...4,100m

・総事業費 1,100,000千円（うち交付金 558,583千円）

（内訳）

町道 300,000千円（うち交付金 150,000千円）

林道 800,000千円（うち交付金 408,583千円）

5 - 3 その他の事業

5 - 3 - 1 地域提案型雇用促進事業（パッケージ事業）

実施主体：日南町雇用対策協議会

（構成団体：日南町森林組合、日南町商工会、鳥取西部農協日南基幹支所、町内林業関係有識者、日南町）

計画期間：平成17年7月19日～平成20年3月31日

\_\_地域森林管理GISの管理者等の人材育成

（略）

\_\_森林管理認証とCoC認証の取得等

（略）

5 - 3 その他の事業

5 - 3 - 1 地域提案型雇用促進事業（パッケージ事業）

実施主体：日南町雇用対策協議会

（構成団体：日南町森林組合、日南町商工会、鳥取西部農協日南基幹支所、町内林業関係有識者、日南町）

(1)地域森林管理GISの管理者等の人材育成

（略）

(2)森林管理認証とCoC認証の取得等

（略）

<p>__市場マーケティング (略)</p> <p>__「森林施業計画」の策定 (略)</p> <p>__新商品、高付加価値化商品の開発 (略)</p> <p>__木質バイオマス燃料の製造 (略)</p> <p>5 - 3 - 2 単町事業ほか 実施主体：日南町、日南町森林組合、日南町林業研究会ほか</p> <p>__木材団地の移転...単町事業 (略)</p> <p>__道路交通網の整備...単町事業 木材流通の基盤である簡易車道、間伐作業道の新設改良を計画的に進め、町の基幹産業である林業の振興を図る。</p> <p>__官学連携による地域資源の調査活動...<u>鳥取県自立支援交付金事業</u> (略)</p> <p>__資源案内人・ガイドボランティアの育成とNPO団体の設立...<u>鳥取県自立支援交付金事業</u> (略)</p> <p>__「にちなん環境林」での官学連携のフィールド教育の実践...<u>鳥取県自立支援交付金事業</u> (略)</p>	<p><u>(3)</u>市場マーケティング (略)</p> <p><u>(4)</u>「森林施業計画」の策定 (略)</p> <p><u>(5)</u>新商品、高付加価値化商品の開発 (略)</p> <p><u>(6)</u>木質バイオマス燃料の製造 (略)</p> <p>5 - 3 - 2 単町事業 実施主体：日南町、日南町森林組合、日南町林業研究会ほか</p> <p><u>(7)</u>木材団地の移転...単町事業 (略)</p> <p><u>(8)</u>道路交通網の整備...単町事業 木材流通の基盤である林道、町道、簡易車道、間伐作業道の新設改良を計画的に進め、町の基幹産業である林業の振興を図る。</p> <p><u>(9)</u>官学連携による地域資源の調査活動...<u>単町事業</u> (略)</p> <p><u>(10)</u>資源案内人・ガイドボランティアの育成とNPO団体の設立...<u>単町事業</u> (略)</p> <p><u>(11)</u>「にちなん環境林」での官学連携のフィールド教育の実践...<u>単町事業</u> (略)</p>
--	--

<p><u>__</u>モデル的ビオトープゾーンの整備...<u>鳥取県自立支援交付金事業</u> (略)</p> <p><u>6</u> 計画期間 認定の日から<u>平成23年</u>3月末まで</p> <p><u>7</u> (略)</p> <p><u>8</u> (略)</p>	<p><u>(12)</u>モデル的ビオトープゾーンの整備...<u>単町事業</u> (略)</p> <p><u>6</u> 計画期間 認定の日から<u>平成20年</u>3月末まで</p> <p><u>7</u> (略)</p> <p><u>8</u> (略)</p>
--	--